

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011. 3.14

No.1988
No.30



| | |
|---------------|---|
| 出席率 | 会員50名中35名 |
| 先々週の出席率 | 91.11% |
| ゲスト | (株) マルト長谷川工作所 取締役副社長 長谷川直哉様 |
| 先週の メイクアップ | 3/8 三条北RCへ 馬場真樹君 星野健司君 飯山勝義君 石山荘一君 松崎孝史君 丸山徹夫君 西巻克郎君 野島廣一郎君 佐々木常行君 高橋祐介君 3/10 加茂RCへ 佐々木常行君 3/12 地区GS Eオリエンテーション(新潟)へ 安達 裕君 |



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。

先週末は大変な出来事がありました。この3月11日(金)の午後2時46分に三陸沖を震源とする、マグニチュード(M)9.0の国内観測史上最大の地震がありました。これは1900年以降、世界で発生した地震の中で4番目の規模の大きさであります。ちなみに、今までで一番大きかったのは、1960年にチリで起きた、マグニチュード9.5の地震です。

新聞報道によりますと、今回の地震のメカニズムは、プレート(岩板)境界で起きた逆断層型であり、地球の表面を覆う岩板の一部の太平洋プレートが、陸側の北米プレートの下に潜り込む場所で起き、太平洋プレートに引きずられて下に潜っていた陸側のプレートが壊れ、元に戻る際に地震が起きたと思われるそうです。そして、破壊された断層の長さは、岩手県沖から福島県沖にかけて、南北約500km、東西200kmに及びとみられます。今回の地震では大規模な津波、土砂崩れ、建物崩壊、火災…など、また、震源から離れた遠隔地でもゆっくりとした大きな揺れが続く、「長期的地震動」による工場火災や、エレベーター停止、大量の帰宅難民発生も加わり、被害は極めて広範囲に及びました。東海地震や南海地震など「プレート境界型地震」では想定されていましたが、現代日本社会は初めて「巨大複合型災害」に直面したと言えるでしょう。特に、地震発生から30分後に三陸沿岸部を直撃した高さ10mを超える大津波は、テレビで中継された地域もあり、その圧倒的な凄さと恐怖で息をのむ程でありました。車や家やコンテナなどがまるでマッチ箱のように簡単に転がり、また田畑を濁流がうねり、うごめく様子をLIVE中継で見ている、思わず戦慄が走りました。地震直後からテレビではどのチャンネルもこの報道をしていましたが、肝心の被災地では停電となり、テレビでこの状況を見ることはできなかったのではないかと思います。そうして丸一日経ってみますと、被害

四つのテスト

言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 葦澤 喜一郎 [三条南]
会長 大溪 秀夫
幹事 野崎 正明
S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

の大きさは甚大であり、死者、行方不明者は 3,000 人に達しようとしていますし、宮城県の南三陸町では今でも 10,000 人以上の人々が消息不明です。さらに、約 30 万人以上の人々が、避難所生活を余儀なくされています。また、福島原子力発電所の 1 号機の周辺で、放射性物質のセシウムが検出されたとの報道もあり、安全・保安院は半径 20 km 以内からの住民の避難を指示しています。

3 月 12 日の新潟日報の社説は、今回の「東北関東大震災」について記載してありました。その一部を紹介すると、「道路、電気、ガス、水道、鉄道といったライフラインが寸断されている。原子力発電所も止まった。社会生活への影響は計り知れない。東北に拠点を置く多くの企業が操業を停止し、経済へのダメージも深刻であり、復興への道のりの遠さに絶望的になるかもしれない。地震国日本は関東大震災をはじめ、阪神大震災、中越地震などで壊滅的な被害を受けながらも、不屈の立ち直りを見せてきた。肉親や知人を失った悲しみはいかばかりであろう。行方不明の人を案じる胸は張り裂けんばかりに違いない。だが、たじろいでばかりはいられない。この災禍から立ち上がることを、私たち国民全員の決意としなければならない。誰でも何かの力になれるはずだ。助け合って困難に立ち向かおう。震災との戦いはこれからだ。力を合わせて乗り切ろう。」と結んでいます。

自然の猛威を目の前にして、誰もが無力感を感じ得ませんが、何としても、この危機を乗り越えて行かなければならないと思います。一刻も早い復旧を願うところであります。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 3 月 14 日 13,000 円
今年度累計 557,000 円

大 溪 君 先日の三陸沖の大地震は大変でした。被災された方々に心からお見舞を申したいと思います。

野 崎 君 直哉さん、本日の卓話ご苦労様です。よろしくお願い致します。

松 崎 君 被災地の皆様にお見舞申し上げます。本日はJC時代の後輩、長谷川君の卓話です。よろしくお願い致します。

安達君、佐藤(嘉)君、平松君、船久保君、星野君
長谷川さん本日の卓話ご苦労様です。楽しみにしています。

銅 冶 君 BOXに協力致します。

鈴木(囃)君 本日の卓話、長谷川様ご苦労様です。今回の大地震で津波の恐ろしさを再認識しました。

坂 井 君 今回の地震で、もしもの時の家族の集合場所を作っておいた方が良いでしょう。

田 中 君 BOXへ。未曾有の大災害に只々驚いています。微力ながらお手伝いの方があったらと思っています。

渡 邊 (久) 君 東日本の大震災、これ以上広がらないことを願います。

Speech



卓 話

「JCを通して学んだこと」

株式会社 マルト長谷川互佐所

取締役副社長 長谷川 直哉 様



現在の(社)燕三条JCの様子をお伝えし、ご子息や社員様をお誘いいただけましたら光栄に存じます。

会員数は全国ではピーク時7万人が時代の流れで3.7万人に減少しています。

そんな中で我が地域では、なんとか会員数140名台をキープしており、全国でも3%に入る巨大LOM(支部)であり、年間平均出席率も数年連続で90%という、名実ともに誇れる団体です。

年々継続事業が定例化してきており、100Km徒歩の旅や、ロボコンなどで皆様のご協力をいただいています。

2009年に理事長をさせていただいた年は、リーマンショック後の大不況時ということで、大変苦労しました。しかしながら、本気で生き残るには、本気で勝ち残るには、この地域の資源を集約して発信していかなければ、この地域は廃れ、やがてこの地域にある企業も・・・と大きく懸念を抱いた年でもありました。結果、年間の事業費の半分以上を「燕三条発信」というプロジェクトに注ぎ、その集大成として、10月10日に地場産センター付近で2万人を動員した「燕三条まつり」を開催するにいたりました。これは、県央にある青年11団体に声を掛け、団体の枠を超えた、素晴らしいつながりとなって、今でもその交流は続いています。

理事長を拝命して、一番大きく成長できたところは、なんでもスケールや規模が、100倍の体験ができたことです。100倍、というのは、10倍と違い、本当の意味で、限界や想像を超えた、ブレークスルーがなければ、成し得ないこと、未知なる領域を意味します。

人間、想像を超えたところに入る際に、最も成長するものだと、感じました。



例えば、数百人の前でしか話したことがなかったところ、ピックスワンでは、J1リーグの試合前に三条のPRをさせていただき、数万という人の前でスピーチをした時などは、まさにその100倍効果を実感しました。そんなブレークスルーのインパクトは、仕事上に用いたりしました。

もう一つ、最近活かしていることとして、社内でJCのような活動を始めたことです。

これは、社内では「第2創業委員会」と名付け、20歳から45歳までの社員29名を募集し、社内であるテーマに沿って、1年間決まったリーダーを中心に勉強会をしたり、社内でファシリテーションをしたりして、切磋琢磨しています。

ちょうど理事長をさせていただいたときにお世話になったJCメンバーの会社さんにも声を掛け、社外との合同例会では70名近い参加者で、社員同士のJC的な成長の場を作れたこと、これもJCで学んだ賜物であると思います。

今日の話を通じて、皆様のご子息や社員様をお誘いいただけましたら光栄に存じます。ご清聴ありがとうございました。



国際ロータリーニュース

2011年 3月 15日

財団が「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設置

日本の東北地方を中心に発生した地震と津波による深刻な被災状況を受け、ロータリー財団は、被災地で長期復興支援を行うための「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を設置しました。

ロータリアンを含め、どなたでも[オンラインで義援金を寄付](#)することが可能です。また、クラブや地区は、現金寄付やDDF（地区財団活動資金）の寄贈を行うこともできます。

日本の記録史上最大となるマグニチュード9.0の地震に続き大津波が発生し、東北地域を中心とする多くの地域が深刻な打撃を受け、数多くの犠牲者と行方不明者が出ています。水と電力の供給が絶たれ、数百万の人々に影響が及んでいることに加え、少なくとも55万人が避難生活を余儀なくされています。

さらに福島県の原子力発電所では放射線物質の外部露出が懸念され、何万人もの周辺地域住民に退避勧告が出されています。日本政府は懸命に状況改善に努めていますが、現在、地震と津波による被害総額は既に1,700億ドルに上ると推測されています。



地震発生から4日後、倒壊した家屋から家財道具を運ぶ人々。宮城県、気仙沼市。写真提供：共同通信

災害発生時、ロータリー関連の出張でポルトガルを訪問中だった田中作次RI会長ノミニー（埼玉県、八潮ロータリー・クラブ）は、電話で京子夫人と連絡を取り、安否を確認しました。「今までに体験したことのない恐ろしい揺れだった」と京子夫人から伝えられた田中会長エレクトは、「東北地方の混乱は現在も続いています。この状況がいつまで続き、またいつまでに回復できるのかは不明です。しかし、世界中のロータリアンからのご心配をいただき心が温まります」と述べています。

また、近藤雅臣RI理事、黒田正宏RI理事、国際ロータリー日本事務局職員らの無事も確認されました。現在、世界中のロータリー・クラブと地区が、被災者の緊要なニーズに応えるべく行動を起こしています。「世界中のロータリアンからメッセージをいただきました」と、第2ゾーンのRI公共イメージ・コーディネーターを務める二神典子さんは話します。「複数のロータリー・クラブが緊急支援のためのプロジェクト計画に着手したとの報告もいただきました。しかし、残念なことに、多くのロータリアンの方々とそのご家族の安否が未だに不明となっており、日本のロータリアンにとって安心できない状況が続いております」

・・・研究グループ交換（GSE）チームの安全を確認・・・

大地震発生時、ロータリアンのロバート・ブラックバーンさん（米国イリノイ州、ウェストモント・ロータリー・クラブ）は、GSEチームのリーダーとして同チームの5人のメンバーと共に東京のホテルに滞在していました。「日本滞在の最終日で、建物全体が揺れているのが分かりました」とブラックバーンさん。「ちょっとやそっとの揺れではなく、延々と続くように感じられました。これほど恐ろしいことはこれまでの人生でもありませんでした」

揺れが治まった後、ブラックバーンさんは18階から階段で下まで降りたそうです。そこでチームの残りのメンバーたちと安否を確認し合いました。「空港が一時的に閉鎖され、数日間は待機することになるかと思いましたが、幸い運行が再開され、受入側の支援もあって無事に空港にたどり着くことが出来ました」

田中会長ノミニーは、世界中のロータリアンが安否を気遣ってくれていることに対し、感謝の意を述べました。「ロータリアンの素晴らしさは、喜びも悲しみもお互いに自分のことのようにシェアすることです。今回の大きな被害にも、日本人は決してめげずに頑張り、互いに協力しながら復興に努力していきましょう」

24

by Shuji Hiramatsu

agril



| Sunday | Monday | Tuesday | Wednesday | Thursday | Friday | Saturday |
|--------|--|--|--|--|--------|---|
| 3/27 | 28 ◆南RC 歴代会長卓話 野島廣一郎 第22代会長 | 29 ◆北RC クラブ休会 ※記帳できます | 30 ◆三条RC クラブ休会 ※記帳できます | 31 ◆東RC 「PETS報告」 石田大介 会長エレクト | 4/1 | 2 |
| 3 | 4 ◆南RC 「雑誌月間」 齋藤嘉一 クラブ会報委員長 ■市内4RC 次年度 会長・幹事会 18:30 於:ロイヤル | 5 ◆北RC 「雑誌月間」 | 6 ◆三条RC 「PETS報告」 山田富義 会長エレクト | 7 ◆東RC 卓話 横山惣治会員 | 8 | 9 |
| 10 | 11 ◆南RC 卓話 高橋祐介会員 | 12 ◆北RC 卓話 国際ライラ 2550 地区代表 藤田 雅美 様 ■市内7クラブ 会長・幹事会 18:30 於:ロイヤル | 13 ◆三条RC 夜例会 ※記帳できます | 14 ◆東RC 観桜会 ※記帳できます | 15 | 16 ㊦ クラブ活性化 セミナー 於:上越 GSEチーム 派遣 第1550地区 (オランダ) |
| 17 | 18 ◆南RC 卓話 丸山徹夫会員 | 19 ◆北RC 移動例会 於:東公民館 NPO 日本フット セラピスト協会 石田まり子 様 ※記帳できます | 20 ◆三条RC 卓話 樺山 仁 会長 | 21 ◆東RC 卓話 長谷川博一 会員 | 22 | 23 北RC 「黒川伊保子 子育て 講演会」 13:30~ 於:三条市 中央公民館 |
| 24 | 25 ◆南RC 卓話 大溪秀夫会長 | 26 ◆北RC 23日講演会に 振替え ※記帳できます | 27 ◆三条RC 「雑誌月間」 阿部吉弘 雑誌委員長 | 28 ◆東RC 会員卓話予定 | 29 | 30 |

*近隣RC例会変更のお知らせ
●加茂RC 4月14日(木) 夜例会

記帳場所
加茂産業会館

表紙について

東山 魁夷 ひがしやまかいい(横浜市出身)

1908-1999

■「道」

1950(昭和25)年作

東京国立近代美術館蔵

ロータリーの友 1994年3月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2011. 3.14

No.1988 No.30